

# 市民病院だより

自分を守ろう！ 地域で守ろう！ 糖尿病

佐賀県糖尿病コーディネーター看護師  
小城市民病院 江頭 早苗

## 佐賀県糖尿病コーディネーター看護師育成事業をご存知ですか？

佐賀県では、コーディネーター看護師による糖尿病の新しい医療連携が始まっています。

この事業は、各地域の糖尿病治療を専門的に行っている病院（基幹病院）と、かかりつけ医との医療連携を円滑に行うことで、患者さんの療養環境をより良いものにして、糖尿病のさまざまな合併症の発症・進行を予防することを目指しています。かかりつけ医師、看護師、薬剤師などの医療スタッフに「コーディネーター看護師」が加わり、患者さんとかかりつけ医、糖尿病専門医との調整役をすることで、患者さんの糖尿病治療をお手伝いします。

この事業は、佐賀県を9つの地域に分け佐賀大学医学部付属病院と、地域ごとにコーディネーター看護師が配置されている基幹病院、かかりつけ医との協力で運営されています。

## 小城多久地区での状況は？

現在の小城多久地区では、小城市登録医療機関15施設、登録患者25人。多久市登録医療機関5施設、登録患者15人となっています。登録された患者さんに対してかかりつけ医の先生と糖尿病専門医で協働して治療をサポートしています。

## 糖尿病はなぜ怖い？

糖尿病は自覚症状があまりないことが特徴です。そのため治療せずに放置、治療を中断してしまうことがあります。症状を感じたときには合併症（神経障

害・網膜症・腎症）が進行して、足病変・失明・人工透析・脳梗塞・心筋梗塞を起こし、日常生活に著しい障害をきたすことも珍しくありません。合併症の予防の為に、かかりつけ医の先生に今の自分の状況を聞き、合併症の進行状況を把握すること、正しい知識を得て日常生活を改善することが大切です。私たちの町でも糖尿病医療連携が始まっています。詳しくは佐賀県糖尿病コーディネーター看護師までご相談ください！



## 小児科だより

### 発熱

発熱は最も分かりやすい病気のサインですが、熱の高さだけで病気の重い軽いは判断できません。

発熱の多くはウイルスや細菌による感染症ですが、まれに川崎病や膠原病などが原因のときもあります。

発熱の原因に対する治療をすること、脱水に気を付けること、必要なときに上手に解熱剤を使うことが大切です。

熱が高くても元気があり、食欲もある場合はほとんど大丈夫です。しかし、

- ・生後3か月未満の赤ちゃんの発熱
- ・高熱が4日以上続く
- ・ぐったりしていて意識がはっきりしない
- ・嘔吐が激しい

これらの症状の場合は重大な病気が疑われます。すぐに小児科を受診しましょう。

## 小児科が拡充しました

毎週木曜日の診療時間を19時まで（受付は18時30分まで）延長しています。

## お知らせ

佐藤彬名誉院長の内科外来を週2回に拡充しました。

木曜日午前中の肝臓外来は従来通り予約制ですが、新たに担当する水曜日の午後は新患、旧患いずれも予約なしで診察します。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161

ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>